

企業動向

『セラム-シルクフィブロイン』 機能性表示食品(RCT)の届出中

ドクターセラム



多くの来場者が訪れた「健康博覧会2018」・同社ブース

ドクターセラム(株)(東京都渋谷区)は、東京農業大学・長島孝行教授と共同開発したサプリメント『セラム-シルクフィブロイン』を販売する。現在、機能性表示食品(RCT)の届出中だ。昨年12月には、一般社団法人アジア・日本優秀企業家連盟(AEEF-J)主催の「ASIA GOLDEN STAR AWARD2017」で、『セラム-シルクフィブロイン』は、商品賞を受賞している。

同品は、東京農業大学・長島孝行教授と共同開発したサプリメント『セラム-シルクフィブロイン』。これまで自社製品で行った有効性データの蓄積をもとに、最終製品での機能性表示食品制度の届出に向けた準備を昨年から進めてきた。

ヒト臨床試験の研究成果がまとめられ、論文は学術誌「診療と新薬」で査読受理されている。論文は「シルクフィブロイン長期摂取による脂質代謝改善効果の検証：無作為二重盲検クロスオーバー試験」「シルクフィブロイン過剰摂取時の安全性の検証」「シルクフィブロインの血清脂質および糖代謝能に対する機能性と安全性の層別解析」の3本。

同社では、「新規関与成分で最終製品による臨床試験なので機能性表示食品の受理まで時間が掛かるかもしれないが、販

売準備を進めていきたい」としている。

同品の主原料であるシルクフィブロインは、シルクに含まれるセリシンを除いた不純物を含まないフィブロインタンパクのみを特殊な製法により抽出したもの(製法特許)。①優れた吸脂性多孔性(ナノレベル微細構造)、②体内の余分な脂肪を吸着し体外へ排出する、③乳化した状態で体外へ排出するため便秘予防も期待できる——などの特長を有する。同社は「健康博覧会2018」に出展し、シルクフィブロインの機能や研究成果を報告した。

—